



平成30年5月11日
総合政策局国際政策課(グローバル戦略)
総合政策局海外プロジェクト推進課
土地・建設産業局国際課

高橋国土交通大臣政務官の南アフリカ共和国出張の結果概要 ～「日アフリカ官民経済フォーラム」への参加等～

高橋国土交通大臣政務官は、我が国の「質の高いインフラ投資」推進のため、5月2日から4日まで、南アフリカ共和国を訪問し、「日アフリカ官民経済フォーラム」に参加しました。
国土交通省は、5月3日(木)、同フォーラムのサイドイベントとして、「アフリカのための質の高いインフラ」会議を主催し、来年、横浜で開催されるTICAD7へ向けてアフリカへのインフラ協力強化を表明しました。

日アフリカ官民経済フォーラム (会議等の概要は別紙1・2を参照)

高橋国土交通大臣政務官は、TICADVI(第6回アフリカ開発会議)の成果を踏まえ、我が国の「質の高いインフラ投資」のアフリカ諸国展開を促進することを目的に、アフリカ・インフラ協議会(JAIDA)企業23社約50名、官民合計約60名を同行して南アフリカ共和国を訪問し、「日アフリカ官民経済フォーラム」(別紙1)に参加するとともに、サイドイベント「アフリカのための質の高いインフラ」会議(別紙2)を主催しました。

アフリカ各国のインフラ担当大臣との会談 (会議等の概要は別紙3を参照)

同フォーラムに参加したアフリカ各国のインフラ担当大臣との会談を通じ、TICAD7へ向けて両国共同で「質の高いインフラ」整備を促進するため、更なる知識及び経験の共有を図ることにより、両国の協力関係をさらに深めていくことで合意しました。

日アフリカ官民経済フォーラムの様子



(注) TICADとは、Tokyo International Conference on African Development(アフリカ開発会議)の略であり、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。2016年8月27～28日に、ケニア・ナイロビにて第6回アフリカ開発会議(TICAD VI)が開催されました。同会議には、安倍晋三内閣総理大臣が出席し、ケニヤッタ・ケニア大統領(開催国)、デビエ・イトゥノ・チャド共和国大統領(AU議長)と共に共同議長を務めました。

<問い合わせ先>

国土交通省 総合政策局 国際政策課(グローバル戦略) 藤田、入江(内線25205、25216)
TEL 03-5253-8111、03-5253-8314(直通)、FAX 03-5253-1562

日アフリカ官民経済フォーラム(5月3日)

- (1) 日 時 : 平成30年5月3日(木)
- (2) 場 所 : 南アフリカ共和国 ヨハネスブルグ市内 サントン コンベンションセンター
- (3) 主 催 : 経済産業省、外務省、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)
- (4) 参加者 : 両国官民合計で約2,000名

(日本側の主な出席者)

世耕経済産業大臣、岡本外務大臣政務官、高橋国土交通大臣政務官、政府関係機関(JETRO、JICA等)、日本企業100社以上(アフリカ・インフラ協議会(JAIDA)会員の建設、コンサル、商社、メーカー等23社含む) 他

(アフリカ側の主な出席者)

ラマポーザ南アフリカ大統領、アフリカ各国より閣僚級28名を含む42カ国、アフリカ企業約400社 他

本会合(基調講演)の様子



本会合(レセプション)の様子



- (5) 概 要 : 全体会合Ⅱ「アフリカにおけるエネルギー、インフラ強化」
高橋国土交通大臣政務官、宮本JAIDA会長がパネリストとして登壇し、議論を行いました。

全体会合Ⅱパネリスト:

(モデレータ)加藤JICA理事

(日本側)高橋国土交通大臣政務官、宮本JAIDA会長(清水建設)、山崎日揮副社長、
佐原千代田化工建設副社長、山添丸紅副会長

(アフリカ側)ラデベ・エネルギー大臣(南アフリカ)、マチャリア運輸・インフラ長官(ケニア)、
メスキータ運輸通信大臣(モザンビーク)、カレマニ エネルギー大臣(タンザニア)

<高橋国土交通大臣政務官の発言概要>

「我が国においては、インフラの老朽化への対応、環境や災害リスクに対応したインフラ整備、効率的なインフラ運営など、様々な課題に対する技術や知見が官民に蓄積されており、我々国土交通省は意欲ある民間企業を積極的に支援しているところ。

アフリカにおいては、道路、港湾、上下水など、膨大なインフラ需要があると認識。インフラ需要への対応にあたり大切な視点が「インフラの質」。我が国の「質の高いインフラ」は、現地への

技術移転や現地人材の能力構築を重視しており、これまで訪問したアフリカ諸国からも、この点について強く要請されている。

現地の方々とのパートナーシップを大事にしながら、アフリカにおけるインフラ整備を進めていくことが、インフラの質を高める上で何よりも大事であり、これが日本流の「質の高いインフラ」のコアとなるコンセプト。来年、横浜にて開催予定のTICAD7に向けて、国土交通省をはじめとする日本政府は、これまで以上に官民一体となった戦略的な取組を推進する。」

全体会合Ⅱ「アフリカにおけるエネルギー、インフラ強化」の様子



サイドイベント「アフリカのための質の高いインフラ」会議(5月3日)

冒頭、高橋国土交通大臣政務官、宮本JAIDA会長が挨拶を行いました。

(1) 参加者： 両国官民合計で約150名

(日本側の主な出席者)

国土交通省(高橋国土交通大臣政務官、青木建設流通政策審議官)

清水建設 宮本会長(JAIDA会長)、フジタ 奥村社長(JAIDA代表)を含む日本企業(JAIDA会員の建設、コンサル、商社、メーカー等23社) 他

(アフリカ側の主な出席者)

ヌケシ公共事業大臣(南アフリカ)、アタ道路・高速道大臣(ガーナ)、バジーレ運輸担当国務大臣(ウガンダ)、チトテラ住宅インフラ開発大臣(ザンビア)、マチャリア運輸・インフラ長官(ケニア)、メスキータ運輸通信大臣(モザンビーク)、イモンゴ・タタカニ経済・計画・開発計画大臣(ガボン)、ボアマ上席副総裁(アフリカ開発銀行)、ブリュワイラー ヨハネスブルグ所長(国際金融公社)、ヌジマンデ役員(南アフリカ土木建設連盟(SAFCEC))、バヤヴアフリカ統括(トルコ建設業協会(TCA)) 他

(2) 概要：

＜高橋国土交通大臣政務官の挨拶概要＞

「これまで11カ国で「官民インフラ会議」を開催し、様々なインフラ分野プロジェクトについて意見交換を行い、我が国の経験に裏打ちされた技術をソリューションとして提案。本日は、「官民インフラ会議」開催国のインフラ担当大臣、インフラ関連企業の皆様をお迎えし、「質の高いインフラ」をテーマについて議論。ハイレベル・セッションを通じて、「質の高いインフラ」を整備していくために、日本とアフリカ各国に加えて第三国の皆様といかに協働していくか、活発な議論を期待。また、来年、横浜で開催されるTICAD7ではインフラをテーマとしたサイドイベントを予定。是非ご参加いただきたい。」

サイドイベント「アフリカのための質の高いインフラ」会議の様子



(3) 基調講演 :

基調講演においては、国土交通省の青木建設流通政策審議官より「アフリカと日本の質の高いインフラ整備への協力」についてのプレゼンテーションが実施されました。

基調講演(青木建設流通政策審議官)



(4) ラウンドテーブル :

「閣僚ラウンドテーブル」、「民間セクター対話」2つのセッションに分かれてハイレベル・ラウンドテーブルを実施しました。アフリカにおいて「質の高いインフラ」を整備していくために、日本とアフリカ各国、加えてトルコやフランス等の第三国といかに協働していくかに関して活発な質疑応答、意見交換がなされました。

(閣僚ラウンドテーブル:パネリスト)

国土交通省(青木建設流通政策審議官)、アタ道路・高速道大臣(ガーナ)、バジーレ運輸担当国務大臣(ウガンダ)、チトテラ住宅インフラ開発大臣(ザンビア)、マチャリア運輸・インフラ長官(ケニア)、メスキータ運輸通信大臣(モザンビーク)、ボアマ上席副総裁(アフリカ開発銀行)※モデレーター

(民間セクター対話:パネリスト)

フジタ 奥村社長(JAIDA代表)、東亜建設工業 植松執行役員、ヌジマンデ役員(南アフリカ土木建設連盟(SAFCEC))、バヤヴ アフリカ統括(トルコ建設業協会(TCA))、ブリュワイラー ヨハネスブルグ所長(国際金融公社)※モデレーター

「閣僚ラウンドテーブル」の様子



「民間セクター対話」の様子



1. モザンビーク共和国とのバイ会談(5月3日)

高橋国土交通大臣政務官は、モザンビーク共和国のメスキータ運輸通信大臣と会談を行い、TICAD VIの成果等を踏まえ、「質の高いインフラ」投資推進に向けた協力関係を強化することで一致しました。また、ナカラ港の建設・運営に向けてトップセールスを実施しました。さらに、宮本JAIDA会長からインフラ整備に協力したい旨の表明を行うとともに、同行したJAIDA会員企業約20社からも各社の経験や技術について紹介がなされました。

メスキータ運輸通信大臣からは、会議の成功を喜ぶとともに、ナカラ港計画への支援約束が表明されました。また、ナカラ港、ナカラ空港と内陸部との連結性向上など、モザンビークのインフラニーズについて説明され、我が国への期待が寄せられました。

メスキータ運輸通信大臣との会談



2. ウガンダ共和国とのバイ会談(5月3日)

高橋国土交通大臣政務官は、ウガンダ共和国のバジーレ運輸担当国務大臣と会談を行い、TICAD VIの成果等を踏まえ、「質の高いインフラ」投資推進に向けた協力関係を強化することで一致しました。また、建設中のナイル架橋(ジンジャ橋)について、完工へ向けての協力・支援を要請しました。さらに、宮本JAIDA会長からインフラ整備に協力したい旨の表明を行いました。

バジーレ運輸担当国務大臣からは、本会議への招待の感謝とともに、従来の道路や建機のみならず、鉄道やビクトリア湖の水運といった分野への需要が表明され、我が国との継続的なインフラ協力を期待する旨述べられました。

バジーレ運輸担当国務大臣との会談

